

2021年2月22日
東京女子大学
東京都杉並区善福寺 2-6-1

東京女子大学人文学科歴史文化専攻藤野裕子准教授の著書『民衆暴力—
—揆・暴動・虐殺の日本近代』が、「2021年新書大賞」4位に選ばれました

東京女子大学（東京都杉並区、学長：茂里一紘）現代教養学部人文学科歴史文化専攻の藤野裕子准教授の著作『民衆暴力—揆・暴動・虐殺の日本近代』が、「2021年新書大賞」4位に選ばれました。

中央公論新社が主催する「新書大賞」は、1年間に刊行された中で最も優れた新書を選ぶ賞として2008年以降毎年行われています。今回は2019年12月～2020年11月発行の1300点以上の新書を対象に、書店員や書籍編集部など計112人による投票の結果、受賞作が決定されました。

「2021年新書大賞」4位に選出された『民衆暴力—揆・暴動・虐殺の日本近代』は、新政反対—揆、秩父事件、日比谷焼き打ち事件、関東大震災時の朝鮮人虐殺といった出来事を中心に、日本近代における民衆の暴動について取り上げた著作です。民衆暴力を通じて近代化以降の日本社会の変化を示すとともに、国家権力や統治のあり方に一石を投じています。「2021年新書大賞」講評でも、本著が民衆暴力への再考を促す一助となっていることや、民衆暴力という単純には捉えられないテーマを冷静に分析している点が評価されています。20位までのランキングや講評といった詳細は、2021年2月10日発売の『中央公論』3月号に掲載されています。

■ 「2021年新書大賞」

https://chuokoron.jp/shinsho_award/

【本件に関するお問い合わせ先】

東京女子大学 広報課

TEL 03-5382-6476 FAX 03-3395-1212 E-mail pr@office.twcu.ac.jp